

# 3.11後に 風雅を考える

長浜市 京都大学人間・環境学研究科連携交流事業  
「庭とコミュニティ」シンポジウム

自然を友とするというのが風雅の基本ですが、そこには何らかのかたちで無常観が含まれます。  
昨年、東北を襲った震災ののちに、あらためて風雅の意味を問いたいと思います。

## 2012年3月17日(土)

13:30～17:00 **参加無料(事前登録不要)**

長浜市曳山博物館 伝承スタジオ  
(長浜市元浜町14-8) Tel:0749-65-3300

主催：京都大学風雅のまちづくり長浜研究所／長浜市

### プログラム

- 13:00 受付開始
- 13:30 開会
- 13:30 挨拶—富田恭彦(京都大学大学院人間・環境学研究科長)  
藤井勇治(長浜市長)
- 13:50 基調講演—「奥の細道まぶさびバージョン」  
篠原資明(京都大学人間・環境学研究科教授)
- 14:10 対談—「3.11後に風雅を考える」  
鷺田清一(大谷大学文学部教授・大阪大学前総長)  
篠原資明(京都大学人間・環境学研究科教授)
- 15:45 報告—中嶋節子(京都大学人間・環境学研究科准教授)  
「長浜庭園調査からまちづくりへ」
- 16:45 閉会